

全国協議会 ニュース

2006年4月1日発行 第166号

発行所 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク 推進連絡協議会 〒160-0005 東京都 新宿区愛住町23-1 Woody21-9階 TEL.(03)3356-8217 FAX.(03)3356-8637 発行責任者:品川 保弘 http://www.marow.or.jp/ E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座 00150-4-15754 銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 普通 5666655

第3回合同公開フォーラム

「空想的近未来 2009年春」と題した財団・さい帯血バンクネットワーク・全国協議会の合同フォーラムが3月12日、日赤本社201会議室で開催されました。協議会は、「患者と



ドナーの対面について」を取り上げました。2009年春には、骨髄バンクを介した移植件数が10,000例を迎えることを想定し、まずまずの情報化社会が進む世の中での個人情報保護の視点も含め、純粋に、「一目会ってお礼が言いたい」という願いを叶える道は本当にないのか、という議論を行いました。議長には及川耕造氏(東京の会・患者家族)を迎え、パネリストには、財団常任理事であり現場で多くの患者を診てきている医師の小寺良尚氏、弁護士としての鈴木利治氏、ドナー経験者から移植患者とその家族を迎え、有意義な時間を共有しました。ま

たアメリカからドナー経験者で、本国で対面を実現されたジャネアさんという女性にゲストでお越し頂き、対面時の思い等を聞かせていただきました。協議会副会長である陽田秀夫氏からは、「ドナー共済制度」や「対面を勝手連でやってみよう」という、とても刺激的な空想的近未来像を話していただきました。

2009年春には今以上に多くの患者さんが救われ、社会復帰出来る事を我々ボランティアは信じ、これからも各関係機関と連携を図り活動してまいります。(大橋)

「いのちの輝き展」全国で開催中

●岐阜

全国協議会設立15周年記念事業として、2月25日・26日に開催されました「大垣市生涯学習のつどい」の中で、「命の輝き展」を展示しました。

生涯学習のつどいは、日頃からの学習活動の集大成として、毎年開催されているもので、音楽での演奏、文化ホールでの



命の輝き展は、奥まった中展示室での倫理研究会、柿の木プロジェクト等との合同展示となりました。キティちゃんやひまわりが目立つなか、当日の来場者は関係者が殆どで、一般来場者が少なかったようですが、じっくり展示を見てもらうことが出来ました。(田中)

●千葉

「東葛シネマクラブ」さんから「3月18日に松戸市民劇場で映画「火火」の上映会を行ない

『2006 全国骨髄バンクボランティアの集い in 船橋』の事業の一環として、血液疾患医療講演会&個別相談会を行います。千葉県では初めての開催となり、主管である千葉の会が再生つばさの会の協力を得ながら準備を進めています。多くの方々の参加をお待ちしております。

血液疾患 医療講演会&個別相談会のご案内

日時：2006年5月20日(土) 医療講演会 12:30~17:00 医療相談会 13:00~17:00

場所：船橋市民文化創造館 きららホール (JR/京成電鉄 船橋駅下車 徒歩1分) 千葉県船橋市本町1-3-1フェイスビル6F

◇医療講演会 プログラム

- ①小児血液疾患の治療 12:40~13:20 千葉県こども病院 血液腫瘍科部長 沖本由理氏
- ②成人血液疾患の治療 13:25~14:05 千葉大学医学部附属病院 血液内科 中世古知昭氏
- ③さい帯血移植の現状 14:15~14:55 国家公務員共済組合虎の門病院 血液科部長 谷口修一氏
- ④患者さんがよりよい生活を送るために 15:00~15:40 国家公務員共済組合虎の門病院 輸血部部長 松崎道男氏
- ⑤医療の質について 15:50~16:30 東京大学医学教育国際協力センター 教授 北村 聖氏

◇医療相談会

13時から17時までおひとり20分間隔で医療相談を行います。希望される方は 氏名/連絡先TEL/成人・小児の別/希望相談時間帯(第3希望まで)を全国協議会事務局までFAX (03-3356-8637) かハガキにてお申し込みください。小児5名、成人14名で4月17日(月)より先着順にて受け付けます。

カウンセラーは以下のとおりです。

- <小児> 沖本由理氏(千葉県子ども病院)
- <成人> 谷口修一氏、松崎道男氏(以上虎の門病院)、井関徹氏(千葉大学医学部附属病院輸血部)

第59回、第60回 理事会報告

2月26日・全国協議会事務局 (1ヶ月会計報告)

定について (報告事項)

- 名義後援、承認案件
- 会員制度見直しについて
- 今後の理事会運営、理事会のあり方について
- 2006年度事業計画案について

- 財団関連報告
- 15周年記念事業進捗状況
- WEBサイト更新について
- 保険適用運動要望書提出について
- 全国大会について

- 2006年度予算案について
- 年賀ハガキ事業・ドナー向け冊子編集発行の件
- 第3回合同公開フォーラムの開催について
- 情報誌第9号の発行について
- 講談社ブログについて
- 「パインクルライド2006 イン東京」協力について
- グズ(うちわ)作成について

- 3月11日・日赤会館403会議室 (2ヶ月会計報告)
- 名義後援、承認案件
- 協議会財政問題
- 2006年度事業計画・予算案
- 全国ボランティアの集いin船橋 感謝状贈呈先について
- 公開フォーラムパネリスト招聘について

- 「いのちの輝き展」今後について
- 「白血病と言われたら」の改

- 財団関連報告

15周年記念事業協賛金・協賛品・一般寄付
(2月20日~3月19日)

東京六本木ライオンズクラブ	20,000円
東京町田グリーンライオンズクラブ	20,000円

(敬称略)

骨髄バンクの最新情報をお知らせする 骨髄バンクNOW

●日本での非血縁者間の骨髄移植とさい帯血移植が総累計1万例突破
日本骨髄バンクと日本さい帯血バンクネットワーク(11バンク加入)が実施した非血縁者間移植の総累計が2月22日、1万例を突破しました。骨髄バンク(7,146例)は平成5年1月からほぼ13年、さい帯血バンク(2,855例)はネットワークが発足する前に移植が始まった平成9年2月からほぼ9年を経ての「大台達成」です。国別の移植例数をまとめている国際機関がないため断定はできませんが、「世界トップクラス」であると考えられます。移植成績も高い数値を示しています。

●ドナー登録者現在数が24万人突破、30万人目標まであと6万人
2月の月間新規ドナー登録者数は4,277人で、引き続き堅調ぶりを示しています。そのため、2月末の登録者現在数が24万人を突破しました。20万人を超えたのが平成16年11月ですから、15カ月で4万人増えた計算になります。このような状況が続けば、目標の30万人到達はあと2年足らずで実現する可能性があります。

●信州大学病院のネット活用システムがコンクールで内閣総理大臣賞に
信州大学医学部附属病院が導入した「無菌室内の患児向けインターネッ

ト利用のテレビ電話システム」が、第6回インターネット活用教育実践コンクール(文部科学省など主催)で最高の内閣総理大臣賞を受賞しました。また、2月24~25日の第28回日本造血細胞移植学会で担当の小児科病棟看護師が発表し、学会奨励賞にも輝きました。

このシステムは「e-MADO」と名づけられ、無菌室にいる低年齢患者の心理状態を安定させることを目的に導入されました。無菌病室で造血幹細胞移植などの治療を受ける子どもが、無菌室から出ることなく院内学級に参加(平成17年4月から)したり、自宅にいる家族との交流(6月から)ができたりするようになっています。ネット回線は各家庭に入っているものを使い、病院からはe-MADOソフトがインストールされたノートパソコンと小型のウェブカメラが貸し出され、無菌室とのあいだをつなぎます。

昨年12月までの実績によりますと、院内学級授業には9人中6人が、自宅との交流には7人中5人が積極的に参加しました。学習時間内(9:30~15:00)には参加級に接続しつづけることが多く、さらに自宅との交流では毎日4時間かそれ以上のケースもありました。中には、自宅の飼育猫の様子を観察したり、花火大会を鑑賞できたりした児童もいました。無菌室といえば「閉鎖された空間」というイメージが強く、大人でも精神

的に落ち込むといわれますが、こうした実践について医師、看護師、母親が患児の心理面を5段階で評価したところ、「移植前と変化がない」「むしろ改善された」という前向きな評価が70%を超えたそうです。それが、ダブル受賞につながったといえますが、必要経費は同病院で2回のさい帯血移植を受けた子どもの両親から寄付された基金が充てられました。

●財団の会議開催予定
傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局までお申込みください。
常任理事会公開 4月19日(水) 17:00~19:00 廣瀬ビル2階会議室

●日本骨髄バンクの現状(平成18年2月末現在)

	1月	2月	現在数	累計数
ドナー登録者数	4,464	4,277	240,083	304,324
患者登録者数	187	192	3,203	20,076
骨髄移植例数	59	71	-	7,147
20歳未満ドナー	240	232	2,432	-
51歳以上ドナー	232*	175**	2,541	-

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。
*51歳以上ドナーの延長数 **51歳以上ドナーの新規登録数

心からのご寄付に 感謝申し上げます

2月20日～3月19日

㈱タクトコーポレーション	現金	30,000円	
㈱サクラホーム	現金	5,000円	
マックスバリュ北海道㈱	現金	192,110円	
サントリー労働組合	現金	154,577円	
株式会社リクルート	現金	10,000円	
埼玉県立大宮東高等学校PTA	現金	100,000円	
徳島藍ライオンズクラブ	現金	12,000円	
太田市立社会福祉協議会	現金	100,000円	
岩瀬日本大学高等学校	現金	50,000円	
武庫川侍史女子大学附属高等学校	中学校	現金	100,000円
福島県骨髄バンク推進連絡協議会	会津支部	現金	100,000円
美濃加茂ライオンズクラブ	兼松利夫	現金	1,400円
KAZU企画	現金	4,064円	
飯島孝枝	現金	1,000円	
吉本哲也	現金	1,000円	
塩谷圭	現金	1,000円	
三瓶和義	現金	2,120円	
徳田ひろみ	現金	1,620円	
柴田純代	現金	6,000円	
名川一史	現金	10,000円	
匿名	現金	40,000円	
切明 蹊	現金	5,000円	
杉本はるみ	現金	10,000円	
大谷巻枝	現金	30,000円	
須藤勝巳	現金	12,328円	
布川久子	ハガキ	200枚	
●佐藤さち子患者支援基金			
骨髄バンクを推進する会(栃木県)	現金	30,000円	
北海道骨髄バンク推進協会北見支部			
いのちの輝き展券金箱	現金	8,250円	
火火上映益金	現金	50,000円	
飯島孝枝	現金	1,000円	
切明 蹊	現金	5,000円	
片平好美	現金	1,000円	
匿名	現金	560,000円	
●白血病患者支援基金・募金箱			
東京立川こぶしライオンズクラブ	現金	15,145円	
ファミリーマート池の上駅北口店	現金	4,138円	
池田建設株式会社	現金	48,012円	
丸光ブイチェーン中迎店	現金	23,955円	
株式会社邑建築事務所	現金	3,375円	
磯屋食堂	現金	3,155円	
グリーン薬局	現金	3,789円	
フジ北条店	現金	2,562円	
瑞浪結梗ライオンズクラブ	現金	7,565円	
ジャスコ宮崎店	現金	14,550円	

活動資金の援助をお願いします

銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

最新医療情報 その③

白血病の健康食品(1)

「がんが効く」「がんが治った」と、謳われている健康食品は数多くありますが、実際のがん治療において有効であることが科学的に検証・立証されたものは、実は、一つもありません。病院で処方される、あるいは治療の際に使用するものは次の3つに分かれます。

- ・健康食品
- ・栄養補助食品(サプリメント)
- ・特定保健用食品(がんを予防するとされる保険機能食品)

どこが違うのか、ご存知でしょうか?
原則として日本人が経口で飲食するものは、2つに区別されます。

- ・食品(特定保健用食品を含む)
- ・医薬品(医薬部外品を含む)

食品と医薬品との違いは、はっきりとしています。治療を目的として、莫大な費用と時間、人員を掛けて、治療を行い、最終的に国によって人体への治療効果の有効性(=科学的根拠)および安全性が認められたものが医薬品。

がんが効くと謳っていても上記の根拠が認められていなければ、健康食品であろうとサプリメントであろうと、日本においては食品です。

健康食品と食品の間には明確な差は有りません。錠剤であろうとカプセルの形を取ろうと食品は食品です。健康食品の問題、摂取方法に対しても大きな疑問があります。

いくら効くかもしれないからといって、同一の健康食品を長期間にわたって購入し、摂取を続けることにどのような意味があるのでしょうか? 抗がん効果があったとしても、長期摂取で生じうる副作用および弊害をどう説明するのでしょうか?

「健康に良いとされている」「がんが効くとされている」といった、不確かな健康食品に過大な期待をかけてはいけません。しかし、現代の日本におけるがん治療において、非常に多くの患者が、病院以外での代替療法を行っているという現状があります。その背景には、納得いかない治療を受けている患者が非常に多くいることが伺えます。

●東北
去る3月4日、5日の両日、青森市において2005年度東北ブロックセミナーが開催されました。青森では初開催でしたが、東北6県の加盟団体から28名参加のほか、青森で活躍されている説明員、青森県立中央病院の骨髄移植医療スタッフや行政からの参加もあり、総勢40名で活発な意見交換をすることが

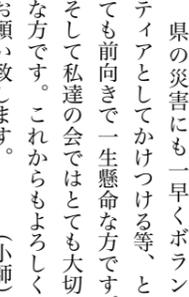
今回の「私たちが考える骨髄バンクの未来像」をテーマに、ボランティアの率直な思いを共有化して新たな活動につなげることを目的としたグループ討論を行いました。患者支援のこと、ドナーリクルートのこと、骨髄バンク事業全般のこと、この紙面ではとても書ききれないほどの意見や提案が出され、有意義



な2日間を過ごすことができました。青森の皆様のご尽力に感謝! (四方田)

ブロック別ボランティアセミナー

「骨髄移植のお陰で元気にさせていただいた息子のドナーさんに対してのご恩返し」の気持ちで「とおしやり、ご夫妻でボランティアとしてドナー登録会や患者負担軽減の為の署名、そしていのちの朝顔の袋作り等々、色々ボランティアとしてご協力をいただいています。ご主人様からは沢山良いアイデアをいただきましたし、奥様は、ハローニカが上手で色々なところで演奏をなさり多勢の皆さんの心をなごませて下さってお



県(小師)



ジャビット君もドナー登録

巨人軍が見学者に登録の呼びかけのビラを配布。さらに、宮崎県が見学者向けの登録会を提案し、巨人軍が快諾下さり実現したものです。両日共ファンサービスインフォメーションでは骨髄バンクの重要性や登録を呼びかけるアナウンスが流れました。25日は悪天候のため練習が午前で終了し、登録会も中止となりましたが両日合わせて25人の登録者がありました。見学者はツアー客が多く登録者の殆どが県外の方でした。開催中は巨人軍のマスコットのジャビット君がタスキをかけて登録会に参加してくれました。また、登録会と同時にチラシやチャンスを本会の会員が配布しました。見学者が地元に戻り、更なる骨髄バンク登録の広がりを願っております。



今回のイベントに協力くださった巨人軍、戸田浩司君支援

2月18日、25日、プロ野球・巨人軍が春季キャンプ中の宮崎市サンマリンスタージアムでドナー登録会を開催されました。この企画は難病に苦しむ元高校球児を救おうと高知県で広がっている骨髄バンク登録運動に取り組んでおられる元球児の恩師の要請がきっかけとなり、巨

巨人軍が見学者に登録の呼びかけのビラを配布。さらに、宮崎県が見学者向けの登録会を提案し、巨人軍が快諾下さり実現したものです。両日共ファンサービスインフォメーションでは骨髄バンクの重要性や登録を呼びかけるアナウンスが流れました。25日は悪天候のため練習が午前で終了し、登録会も中止となりましたが両日合わせて25人の登録者がありました。見学者はツアー客が多く登録者の殆どが県外の方でした。開催中は巨人軍のマスコットのジャビット君がタスキをかけて登録会に参加してくれました。また、登録会と同時にチラシやチャンスを本会の会員が配布しました。見学者が地元に戻り、更なる骨髄バンク登録の広がりを願っております。

去る3月4日に長崎県佐世保市主催の登録会が大塔ジャスコで開催されました。単独での登録会は今年初めてです。当日は晴天のおかげか午前中から客足のほうは伸び悩みましたが、事前告知のおかげで32名の方が登録してくれました。また翌日、地元の新聞にも大きく取り上げられ、登録についての問い合わせもたくさんありました。

2000名を越え、県の担当室長から今年は2500名を目標に頑張りたいと激励も受け「二人でも多くの人を救いたい」との気持ちでメンバー一同頑張っています。(平塚)

この事業への準備期間を1年掛け、青年部会の皆さんの熱い思いが市民に届き、連鎖し、長井市・他団体・上映協力者のご支援の結果だと思っています。またこれは、骨髄バンク活動に於いて大きな収穫であり、初めの一歩でもあります。いままでも骨髄バンクという事に触れていなかった方がほとんどでしたが、この事業の後、「もっ

と詳しく勉強したい」とか「家族と話し合ってみる」などのアンケート返答があり、これからの活動の礎となりました。「いのちの大切さ」「他人への思いやり」「人と人との繋がりを想い活動してきた青年部会の皆様に深く感謝いたします。このことが次のステップになることを確信しています。(鈴木)

和・輪・環」に沿った講演をいただきました。大変有意義な時間をもつことができました。以下生徒の感想からの抜粋です。「今私が生きているのはたくさんのおおかげなんだ。そのうち1人でも欠けていたら私はこの世に存在してないんだ。」という話を聞いて、今まで大嫌いだっただ自分を少し好きになりました。

「自分には間に合わなくても他人が間に合えば・・・」という言葉が強く心に残り、グツとくるものがありました。「一緒に頑張ろう」という言葉、印象に残りました。「1万分の1の奇跡」はきつと他の9999人の方からの贈り物なのではないでしょうか。

心に直接響く数多くのお言葉、本当に有り難うございました。(岩瀬日本大学高等学校講演会担当教員 谷津直秀)

各地のたより 宮崎 巨人軍のキャンプで登録会

2月18日、25日、プロ野球・巨人軍が見学者に登録の呼びかけのビラを配布。さらに、宮崎県が見学者向けの登録会を提案し、巨人軍が快諾下さり実現したものです。両日共ファンサービスインフォメーションでは骨髄バンクの重要性や登録を呼びかけるアナウンスが流れました。25日は悪天候のため練習が午前で終了し、登録会も中止となりましたが両日合わせて25人の登録者がありました。見学者はツアー客が多く登録者の殆どが県外の方でした。開催中は巨人軍のマスコットのジャビット君がタスキをかけて登録会に参加してくれました。また、登録会と同時にチラシやチャンスを本会の会員が配布しました。見学者が地元に戻り、更なる骨髄バンク登録の広がりを願っております。

長崎 ジャスコでの登録会

去る3月4日に長崎県佐世保市主催の登録会が大塔ジャスコで開催されました。単独での登録会は今年初めてです。当日は晴天のおかげか午前中から客足のほうは伸び悩みましたが、事前告知のおかげで32名の方が登録してくれました。また翌日、地元の新聞にも大きく取り上げられ、登録についての問い合わせもたくさんありました。

山形 青年部会の熱い思い実る

この事業への準備期間を1年掛け、青年部会の皆さんの熱い思いが市民に届き、連鎖し、長井市・他団体・上映協力者のご支援の結果だと思っています。またこれは、骨髄バンク活動に於いて大きな収穫であり、初めの一歩でもあります。いままでも骨髄バンクという事に触れていなかった方がほとんどでしたが、この事業の後、「もっ

と詳しく勉強したい」とか「家族と話し合ってみる」などのアンケート返答があり、これからの活動の礎となりました。「いのちの大切さ」「他人への思いやり」「人と人との繋がりを想い活動してきた青年部会の皆様に深く感謝いたします。このことが次のステップになることを確信しています。(鈴木)

和・輪・環」に沿った講演をいただきました。大変有意義な時間をもつことができました。以下生徒の感想からの抜粋です。「今私が生きているのはたくさんのおおかげなんだ。そのうち1人でも欠けていたら私はこの世に存在してないんだ。」という話を聞いて、今まで大嫌いだっただ自分を少し好きになりました。

心に直接響く数多くのお言葉、本当に有り難うございました。(岩瀬日本大学高等学校講演会担当教員 谷津直秀)

ボランティヤの仲間たち 曾山さんご夫妻(新潟)の巻

新潟の会では、曾山(そやま)さんご夫妻を紹介させていただきま

県(小師)

県(小師)

大谷会長 走る

2月27日、大谷貴子さんより、本校の文化祭スローガン「わ

本校の文化祭スローガン「わ



謝しています。これからもよろしく願います。(豊永)